

第17回埼玉緩和薬物療法研修会

《オンライン研修会》

埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター（G15）認定単位 1 単位

日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師制度（P04）V-2 1 単位（申請中）

日本緩和医療薬学会緩和薬物療法薬剤師の認定講習単位 1 単位（申請中）

日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師・認定薬剤師の認定講習会認定単位 0.75単位（申請中）

日本緩和医療薬学会の単位発行には緩和医療薬学会の会員番号【709から始まる10桁】が必要になります。

（研修受講シールはG15、P04はいずれか一つの付与です）

【開催日時】 2025年3月5日（水）18:45～20:30（ログイン18:15～19:15）

【情報提供】 18:45～19:00

持続型G-CSF製剤 『ジーラスタ皮下注3.6mgボディーポッドについて』

協和キリン株式会社

座長 春日部市立医療センター 薬剤科長 星野 真之 先生

【基礎レクチャー】 19:00～19:30

『緩和ケア・疼痛治療における放射線治療の役割とその実際』

春日部市立医療センター 放射線科 金森 信祐 先生

（講演内容）がん治療では、手術療法、薬物療法、放射線療法の3大療法に加え、緩和ケアや支持療法などを含めた集学的治療が求められる。緩和ケアは患者やその家族のQOLを改善するためのアプローチであり、終末期だけでなくがんと診断されたときから必要とされる。緩和ケア・疼痛緩和における放射線治療の役割と実際について述べる。

【特別講演】 19:30～20:30

『ガイドラインを活用したせん妄へのアプローチと実践』

NHO近畿中央呼吸器センター 心療内科 医長 松田 能宣 先生

（講演内容）2022年に改訂された「がん患者におけるせん妄ガイドライン」では12の臨床疑問を扱っている。しかし推奨文だけを読んでも実臨床にダイレクトに活かすことは実は難しい。その推奨の元となった研究をどう読み解き、記載されているような推奨文にいったのか、そして実臨床でどのように実践するかについてできるだけわかりやすく解説する。

《参加費》会 員1,000円 埼玉県病院薬剤師会または下記の共催・後援団体会員

非会員2,000円

【研修会申し込み・決済サイト】 <https://saibyoyaku.peatix.com/>

※参加者480名まで（先着順）

《注意事項》

※本研修会はすべてオンライン（同時配信型）での聴講となります。

※聴講するためには事前申し込みが必要です。締め切り後の申し込みはできません。

※参加費は事前の支払いとなります。主催者側の都合により聴講できなかった場合を除いて、いかなる場合も返金することはできません。

※聴講にかかる通信費は聴講者の個人負担となります。

※申し込み時の登録メールアドレスは共用のものではなく、必ず個人のメールアドレスをお願いします。

※申し込み時と受講後の成果報告書入力時には薬剤師名簿番号(免許番号)が必要です。

※本セミナーで取得したご施設名・ご芳名は、医薬品および医学・薬学に関する情報提供並びに参加者に関する確認のために利用させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

※当該情報は、協和キリン株式会社から共催の埼玉県病院薬剤師会に開示をさせていただきます。ご同意いただけるようでしたらご参加ください。

※本研修会は医療従事者向けの研修会となっております。

【問い合わせ先】 埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター TEL 048-829-7698

共催：埼玉県病院薬剤師会 協和キリン株式会社

後援：埼玉県薬剤師会 埼玉県医師会 埼玉県看護協会